

縁を大切に 懐かしさに酔う

毎年夏になるとなつかしい友に会える。

すっかり定番になり、お世話くださる方の苦労を思いながらも楽しみにしております。

卒業後、私自身は教職にはつかず違う道に進みましたが、変わらずおつきあいさせてもらえて感謝しています。

職場での何気ない会話の中で同僚やママ友から、旧友の名を聞くと懐かしさとともに誇らしささえ感じることもしばしばです。(へ～え、〇〇さんががんばっているんだ!!)

さらに何年も会っていない友人の最新情報を聞けたりするのでびっくりです。

人の縁とは不思議なもので、以前に歴史資料館で勤務していた際には、母校の懐かしい先生方にも大変お世話になりお助けいただきました。結んだご縁を大切にしながらこれからもよろしくお祈りします。

末尾になりましたが皆様のご健康とご多幸をお祈りしています。

多田 徳恵

懐かしき思い出に誘われて

同窓会に参加された皆様お疲れさまでした。懐かしの学び舎で、社研の先生方や、先輩、後輩の皆様とお話することができ、楽しいひとときを過ごさせていただきました。

卒業してはや9年。振り返れば、新見先生に率いられて地理学巡検で四国各地を巡ったこと、学祭でうどんの出店をしたこと、教育実習、教採、卒論等で多くの人たちにお世話になったことなどが懐かしく思い出されます。

ひょんな事から現在は教職以外の道に就いていますが、色々な方のお話をうかがい、ご活躍を見聞きするにつけ、社研の伝統が着々と未来に受け継がれつつあるのを嬉しく思っております。今後も皆様のますますのご活躍とご健勝をお祈りしています。

来年もまた香大でお会いできることを願って。

山本 秀明

人との関係は時代を超えて

同窓会は20年、30年の時の流れを一気に逆戻りさせてくれる。なんとも不思議な魅力というか魔力、いやいや錯覚にひたれるひとときになる。その人の外見的な様相が多少変容していても、何故か集まった人たちからは「変わらんな・・・大学の時から・・・やっぱり〇〇さんや」など、黄色い歓声が。本当に奇妙というべきか固有の関係性の中で培われた独特の何かが間違いなくそこには存在する。しかし、年齢を重ねてくると、今回の挨拶でも聞かれたように「互いの生存確認の場として、毎年集まりましょう。・・・」と言うのも満更はずれていないのかと・・・。県外からも数名参加して下さり、有り難きこと。松楠会を支えるためにも、とにかく、元気で集まりましょう。いろんな力も心にもらえますから。

植田 和也